

伊勢物語絵研究会 編

住吉如慶筆 伊勢物語絵巻

◆A4判上製本・328頁(含カラー144頁)／定価:本体 27,600円(税別)

【2019年5月刊行】



組見本(図版篇)

近年、展覧会で公開される機会も増え、近世における伊勢物語絵の最高水準を示す作品とされる、住吉如慶筆「伊勢物語絵巻」(東京国立博物館蔵)。

本書は、絵巻全体の構成や場面解説および解釈の最新研究成果を提示する。絵画史、国文学のみならず歴史学や住宅建築史、さらに文化史や服飾史などの幅広い視点から、如慶が描く伊勢物語絵の魅力にせまる。

絵巻全図版のほか、本絵巻に特徴的な人物表現・表情や画中画部分などの図版をカラーで掲載し、豊富な資料を収録。

住吉如慶筆「伊勢物語絵巻」(東京国立博物館所蔵)の概要——河田昌之

◎図版篇◎

図版(カラー)

伊勢物語 各章段の概要——山本登朗

詞書釈文——青木賜鶴子、泉紀子、田中まき

絵巻場面を読む——青木賜鶴子、赤澤真理、泉紀子、大口裕子、河田昌之、田中まき、山本登朗

◎論考篇◎

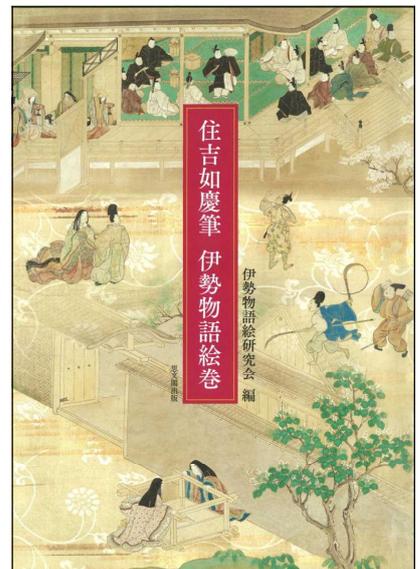
住吉如慶の古画学習:「伊勢物語絵巻」と「年中行事絵巻」——大口裕子

如慶の着想:絵画表現と料紙に施された金銀箔による装飾——河田昌之

「伊勢物語絵巻」に描かれた建築空間:建築考証と貴族住宅像——赤澤真理

「伊勢物語絵巻」にみる住吉如慶の復古的服飾表現——伊永陽子

参考図表/法量一覧/関連年譜/参考文献・引用文献



思文閣出版

〒605-0089 京都市東山区元町355 tel.075-533-6860 fax.075-531-0009
https://www.shibunkaku.co.jp E-mail:pub@shibunkaku.co.jp

注文票		発行:思文閣出版		(京都 取引コード 3402)	
冊数	冊	住吉如慶筆 伊勢物語絵巻		本体27,600円(税別)	IBN978-4-7842-1959-9
お名前				tel	
				e-mail	
ご住所	〒				
送本方法	代引(書籍代(税込)+送料600円(手数料込※離島は送料実費※)を現品と引替支払) ◎ 最寄りの書店・ネット書店でもお買い求め、お取り寄せできます ◎				

※宗達伊勢物語図色紙

羽衣国際大学日本文化研究所 伊勢物語絵研究会編

「宗達伊勢物語図色紙」59面の全てをカラー、原寸大で掲載。色紙に描かれた伊勢物語の世界の解釈、伊勢物語絵巻・絵本との比較対照、裏書の解説、色紙の特徴的な構図と技法、色紙をめぐる人的ネットワークなどに関する新たな知見を取める。

▶B4判変・220頁／本体 19,000円 ISBN978-4-7842-1679-6

原本『古画備考』のネットワーク

古画備考研究会編

原本『古画備考』（東京藝術大学附属図書館所蔵）を徹底的に解剖することにより、江戸時代後期に『古画備考』を〈書画情報〉総合集積の場として大規模に繰り広げられていた古画研究ネットワークの実態を浮かび上がらせる。また、活字本『増訂 古画備考』などから近代における『古画備考』の受容の様相を検討した17論文の総論文集。

▶A5判・500頁／本体 9,200円 ISBN978-4-7842-1674-1

源氏物語 千年のかがやき

国文学研究資料館編

新出の国文学研究資料館蔵『源氏物語団扇画帖』全54枚をカラーで掲載し、詳細な解説を付す。あわせて図様が近似する他の源氏絵についても参考資料として多数掲載。描く・書き写す・鑑賞するという3つの観点から、源氏物語が千年間どのように享受されてきたのか、豊富なカラー図版で紹介。

▶A4判・168頁／本体 1,900円 ISBN978-4-7842-1437-2

描かれた祇園祭 山鉦巡行・ねりもの研究

八反裕太郎著

祇園祭を主題に描かれた絵画作品は、その膨大さゆえに祭の全体を見渡す研究視点が大きく欠落していた。本書は、祇園祭の山鉦巡行ならびに江戸中期に始まる神輿洗のねりものを描いた絵画作品から、祭儀の変遷を読み解こうと試みる。林屋辰三郎藝能史研究奨励賞受賞。

▶A5判・970頁／各 本体 15,000円 ISBN978-4-7842-1906-3

風俗絵画の文化学Ⅱ 虚実をうつす機知

松本郁代・出光佐千子・彬子女王編

風俗絵画とは虚実をうつす機知の媒体である一。美術史・歴史学・文学・文化人類学等を専門とする研究者が、それぞれの専門性を生かした風俗絵画分析を進め、粘り強く議論を繰り返して生まれた学際的文化的研究。絵画の制作に関わった人々の複雑に絡み合う視線の交錯を文化的に考察し、そこにあらわれた「機知」を明らかにしていく15篇。

▶A5判・450頁／本体 7,000円 ISBN978-4-7842-1615-4

禁裏本歌書の蔵書史的研究

酒井茂幸著

禁裏本の総体を蔵書群として捉え、同時代の公家日記や古歌書目録類を援用しつつその伝来の歴史を跡付ける。また、禁裏における歌学や古典文学の注釈・講釈に注目し、古典学の変遷を叙述する。中世後期以降、歴代天皇がどのような歌書を求め、書写し、収蔵していったかを明らかにするのが本書の目的である。

▶A5判・344頁／本体 5,600円 ISBN978-4-7842-1483-9

文人画 往還する美

河野元昭著

日本近世絵画史全体にわたる業績から、知と美の共演というべき文人画研究を集大成。乾山・大雅・蕪村・貞春・玉堂・竹田・米山人・文晁・華山…彼らが中国文人画の影響の元、何を学び、理想として、どのような画境へ到ったのか—生き方をも含めた研鑽の跡を辿る26篇。

▶A5判・752頁／本体 15,000円 ISBN978-4-7842-1923-0

隔莫記 [全7巻／本篇6冊・総索引1冊]

本篇・赤松俊秀校訂／総索引：『隔莫記』研究会編

鹿苑寺住持鳳林承章が寛永12(1635)年から寛文8(1668)年までの33年間に渡って書き継いだ自筆日記で、近世の日記の中でも一級の記録を活字化。その記事内容はきわめて豊富で、17世紀中ごろの政治・経済・社会はもとより、文芸や芸能においても必読。

▶A5判・総5130頁／本体 70,000円 ISBN4-7842-1311-2

写しの方 創造と継承のマトリクス

島尾新・彬子女王・亀田和子編

二項対立的に「オリジナル」と「コピー」を捉え、模本を原本に劣るものとして考えるのではなく、日本美術における模写の伝統をさまざまな角度から再検討する試み。【内容】中国への憧れを写す／圖像の伝承としての「写し」／「写し」の意味と役割

▶A5判・278頁／本体 4,000円 ISBN978-4-7842-1711-3

『狭衣物語』 享受史論究

川崎佐知子著

『源氏物語』に並称された平安朝後期物語の傑作『狭衣物語』の受容の様相を文学史的見地から徹底的に分析検証し、連歌師紹巴が天正18年に著した『狭衣下紙』を享受史の中核に位置づけた。(財)陽明文庫所蔵『狭衣下紙』2種ほか未紹介資料5種を全文完全翻刻掲載。

▶A5判・640頁／本体 12,000円 ISBN978-4-7842-1486-0

※源氏物語 遊興の世界

逸翁美術館・池田文庫編

2012年9月15日～12月2日逸翁美術館で開催された同名展、同日程で池田文庫で開催された「宝塚歌劇の源氏物語」展での展示図録。描かれた『源氏物語』を中心に、雅やかな世界を現代に蘇らせる。特に物語に描かれた「奏楽」「舞楽」「碁」など「遊興」に注目し、屏風や画帖などに鮮やかに再現された「遊興」の世界をたどる。

▶A4判・98頁／本体 1,000円 ISBN978-4-7842-1655-0

黄金のとき 桃山絵画

京都国立博物館編

信長・秀吉と狩野永徳に象徴される桃山時代の絵画を狩野派とそれをめぐる作家たちの作品を中心に構成。大画面一襖・屏風・大絵馬・杉戸絵一を主として基本作品全100点を全8章に分けてオールカラーで収録し、各章ごとにテーマ解説を掲げ、適宜部分拡大図を収めた。巻頭概説「祭の終り—桃山時代絵画の展望」のほか巻末に作品解説を収録。

▶B4判・400頁／本体 40,000円 ISBN4-7842-1044-X

風俗絵画の文化学Ⅲ 瞬時をうつすフィロソフィー

松本郁代・出光佐千子・彬子女王編

風俗画の歴史的な実証に留まらず、描かれた事象に織り交ざる虚実を読み解くことで、鑑賞されることを意識した美的な演出や、儀礼や慣習から生じた絵の上での約束事や仕掛け、信仰のイメージや地域に根ざした特殊な世界観などといった、人間の営為そのものの原理を探究する、哲学的思考（フィロソフィー）へと解釈を広げた13篇。

▶A5判・434頁／本体 7,000円 ISBN978-4-7842-1775-5

円山応挙論

冷泉為人著

応挙とはどのような画家なのか。そして、応挙の写生とは何なのか。本書では、応挙の写生を〈速写の写生〉(形似の写生)〈生写の写生〉の三つに分類して論ずることで、誰もが納得する絵画を描き続ける「職人」としての応挙の姿を浮かび上がらせる。冷泉家25代当主である著者の、美術史研究者としての50年にわたる日本近世絵画研究の集大成。

▶A5判・436頁／本体 9,500円 ISBN978-4-7842-1907-0

琳派 響きあう美

河野元昭著

光悦・宗達・光琳・乾山・抱一・其一など、琳派と呼ばれる芸術家たちが互いにどう影響しあい、独自の美を生み出していったのか。今もなお人びとを魅了してやまない才能あふれるクリエイターたちの実像に迫る27篇。日本近世絵画史全体にわたる業績のなかから、その中核をなす琳派研究を集大成。

▶A5判・880頁／本体 9,000円 ISBN978-4-7842-1785-4

隔莫記 総索引

『隔莫記』研究会編

『隔莫記』全6巻の膨大な情報を索引として刊行。人名(8000)・事項(8800)・社寺名(550)・地名(500)に分けて編集。人名索引は別称・異称・官位官職・寺院名・姻戚・師弟関係・居住地や鳳林・校注者の誤りを併記。事項索引には陶磁器・園芸・建築・書画などの諸分野の項目を収録。

▶A5判・760頁／本体 14,000円 ISBN4-7842-1312-0